



報道関係者 各位

平成21年5月11日
新型インフルエンザ対策推進本部
照会先:メディア班
(電 話) 03(3595)3040
内線(8778、8779、8780)

【第一報】

三重県における新型インフルエンザ（インフルエンザA／H1N1）が
疑われる患者の発生について

5月11日、三重県において、アメリカから帰国した方一名について、新型インフルエンザ（インフルエンザ、A／H1N1）の疑いのある患者の届出がございましたので、現時点での状況及び行政の対応について報告いたします。

1 患者に関する情報

(1) 概要

患者は三重県在住で、4月24日よりアメリカ(ニューメキシコ州・アリゾナ州・テキサス州)に滞在していた30歳代の日本人女性。5月10日にアメリカ・サンフランシスコを経由し成田へ帰国。便名はUA(ユナイテッド航空)853便。その後、全日空2179便で伊丹空港に移動した。患者には5月11日より症状が出現したもの。同日医師の診察を受け、インフルエンザ簡易検査にてインフルエンザA型陰性、B型陰性であったが、渡航歴・臨床症状から、医師が新型インフルエンザに感染している可能性を強く疑い、疑い患者の発生として、新型インフルエンザ対策推進本部に連絡があった。

(2) 患者の状況

5月11日朝から発熱(37.9℃)・鼻汁・全身倦怠感の症状が出ている。

(3) 検査について

現在、三重県保健環境研究所で検査を行っている。また、国立感染症研究所にも検体を送付予定。

(4) その他

国内における患者の行動及び接触者状況について調査を開始している。